

＝ 病院の理念 ＝
人間の尊厳と患者の権利を守り、安全・安心の医療、差別のない医療、納得の医療を患者様や地域の方々とともに目指します。

東葛の健康

№ 502 2026年 6月号
〔毎月5日発行〕
〔定価1部20円〕
発行 東京勤労者医療会東葛病院
院長 濱砂一光
〒270-0153 千葉県流山市中102-1
TEL 04 (7159) 1011(代)
FAX 04 (7158) 9202
http://www.tokatsu-hp.com/services/out/organization/

あの日の引っ越しを振り返って 新しい病院への期待と、舞台裏で支えた力

東葛の医療
第1回
座談会

移転10周年座談会

東葛病院が現在の地へ移転してから10年を迎えました。これを記念し、5月8日、濱砂院長と当時入職1年目の3人の職員(椎名医師、小野寺看護師、小泉理学療法士)を迎え、移転当時の思い出、この10年の歩み、そして次の10年への展望を語り合う座談会を行いました。司会は樋口麻紀事務次長が務めました。

第1回は、移転当時の記憶を中心にお届けします。

樋口 今日、移転10周年を記念して、当時を知る皆さんにお集まりいただきました。まずは、移転当時のことから伺いたいと思います。皆さんは、入職から引っ越しまで、どれくらいの期間でしたか。

椎名 私は入職して1か月くらいでした。まだ患者さんを担当したこともない時期に、引っ越しを迎えました。今思うと、病院にとって本当に大きな出来事だったのですが、当時の私は、正直に言うと「こんな大イベントに立ち会えるなんて、二度とないだろう」というワクワクの方が強か

ったです。

小野寺 私も似ています。ほぼ新人で、先輩について少し病棟を見ていたくらいの時期でした。東葛看護専門学校出身なので、学生時代の写真を見せてもらったり、入職後に院内を見学させてもらったりしていました。「新しい病院で働ける」という気持ちが大きかったですね。

小泉 私も、最初は新しい環境への期待が大きかったです。リハビリ室はまだ何もなくて、機器の搬入や仕分けを手伝いました。段ボールがたくさんあって、業者さんと一緒に運んだりして。以前の職場が古い環境だったこともあって、新しい病院はとにかくきれいなモチベーションになりました。

樋口 当時は、患者さんの搬送も大きな課題だったと思います。今振り返って、感じ方は変わりましたか。

椎名 まったく変わりました。当時は、患者さんの状態に責任を持つ立場ではなかったのですが、搬送中に何かあったらどうしよう、という緊張感を実感できていなかったんです。でも今は、主治医として患者さんを受け持ち、手術にも関わっている患者搬送があったら、点滴、酸素、ドレーン、チューブ類など、どう安全に移すかをかなり具体的に考えたりしています。当時の上級医やスタッフは、一人ひとりの状態やリスクを相当考えていたのだと、今になって痛感します。

小野寺 私も、当時は患者さんの病状の重さや、安全に搬送することの責任を、十分には実感できていなかったと思います。経験を重ねた今だからこそ、あの日の重みが分かるようになってきました。小泉 搬送の時は、チームに分かれて、指示どおりに押して運ぶことに集中していまし



病院の引っ越しの打ち合わせの様子

樋口 最後まで動いていたのは、どの部門だったのでしょうか。

濱砂 最後の最後まで働いていたのは、事務の電力や会計の人たちでした。最終日の最後の瞬間まで働き続け、終わったら直ちに電子カルテとともに新病院へ引っ越ししてカルテの立ち上げ作業に取りかかる、あの姿はよく覚えています。私たち医者は、いわば整えられた舞台に乗っている役者のようなものです。その舞台の裏側で、どれだけ多くの人を支えているのかを思い知りました。

樋口 病院全体で移転を支えたということですね。

濱砂 そうです。それから、うちはお金が潤沢にある病院ではなかったのですが、備品も極力捨てませんでした。他病院の移転で不要になったベッドや棚を譲り受けて、みんなで洗って使う。看護師さんたちと一緒にベッドを洗ったこともよく覚えています。古い備品もありますが、それがうちらしさでもあると思います。エコやリユースが自然に根付いているところは、私は好きです。

樋口 新しい病院への期待と同時に、たくさん職員の支えがあったことが、改めて伝わってきます。

椎名 当時はワクワクしていた自分もいましたが、今振り返ると、あの日は病院全体にとって本当に大きな責任を伴ったことだと思います。

小野寺 新人だったから見えていなかったことも多かったですが、今は、あの時に多くの人々が準備してくれていたからこそ、安全に移転できたのだと感じます。

小泉 新しい環境で働ける喜びと同時に、患者さんを安全に移すために、皆さんの職責が動いていた。そのことを、今だからこそ実感します。移転の日、単に建物が変わった日ではありませんでした。新しい病院への期待、患者さんを安全に移すための緊張、そして舞台裏で支えた多職種の力。それらが重なり合い、東葛病院の新たな10年が始まりました。今回は、この10年で変わったこと、変わらなかつたこと、大切にできたこと、そして次の10年へ受け継ぎたい東葛病院らしさについて紹介していきます。

聴診器



沈黙が生む危険
「何か変だな」と思っても、声に出せないことがある▼これは特別なことではありません。心理学の研究では、周囲が同じ意見だと、明らかに違うと思っても約3人に1人が合わせてしまうことが示されている▼また、権威のある相手には約65%の人が従ってしまうという有名な実験もあり、行動経済学でも、人は無意識に変化を避ける「現状維持バイアス」があるとされる▼これは病院だけでなく、家庭や職場でも起こる、こころ、人間の間、自然な行動である▼「忙しいから」「こんなことを聞いてよいか」「そんな遠慮も、沈黙につながる▼医療では、その沈黙が安全に影響することがある▼「確認したほうがいいかもしれない」「いつもと違う気がする」「そんな小さな違和感は大切な気づきだ▼その小さな気づきを、どうぞ声にしてほしいと思う▼最後に、沈黙しない社会であってほしい▼相手はどれほど強い立場でも、「それはおかしい」と言える日本でありたい。(横)

栄養+ だより

管理栄養士 城 裕子



近年は猛暑日だけでなく、「酷暑日」と呼ばれる危険な暑さの日も増えており、熱中症予防がますます重要になっていきます。特に高齢者は、のどの渇きを感じにくく、気づかないうちに脱水が進むことがあるため注意が必要です。



熱中症予防の基本は、1日3食しっかり食べる事です。朝食を抜くと、水分やミネラルが不足し、体温調節がうまくできなくなります。肉・魚・卵

・大豆製品などのたんぱく質や、野菜・果物に含まれるビタミン、カリウムを意識し、バランスよく食べましょう。食欲がない時は、具だくさんのスープや冷たい麺類など、食べやすいものを選ぶのも効果的です。

また、水分は「のどが渇く前」にこまめに補給することが大切です。起床時や食事中、入浴前後、就寝前など、時間を決めて少しずつ飲む習慣をつけましょう。

昨日、熱中症予防には水分と塩分の補給が必要ということも聞かれますが、通常の生活

検査室

『採血を安心して受けていただくために』

臨床検査技師 古澤章雄

東葛病院の外来での採血は、主に臨床検査技師が担当しています。採血カウンターの際にある検体検査室に設置されており、当日の結果がわかる検査項目については、臨床検査技師がこれらの装置を用いて検査を行っています。



採血を受ける際、これまで採血で気分が悪くなったことがある方は、遠慮なく採血担当者へお伝えください。横になった状態で採血を行うなど、できるだけ安心して受けていただけます。



さらには、厚生労働省では「暑熱順化」を勧めています。軽い運動や入浴などで汗をかく習慣をつけ、体を暑さに慣らすことが熱中症予防につながります。無理をせず今の時期から早めに対策を始め、暑い夏を元気に乗り切りましょう。

子育て応援コラム Kids'n Baby's

きっずんべいび〜ず

隔月連載 127



「無償の愛情」って？ おひさま保育園 保育士 村越ルミ

親の愛情をたくさん受けた子は、自己肯定感が高く、心理的に安定している。とよく聞きます。純粋な愛情とは？と考えるながら「無償の愛とは」を調べてみました。「見返りを求めず、相手の幸せを純粋に願い、献身的に尽くす愛のこと」と書かれていました。



親は子どもに無償の愛情を注げると、よく耳にしますが、無償の愛情って、思っているより難しくないですか？

本来の無償の愛は、失敗しても出来なくても、親が思う理想の子でなくても。大丈夫だよと、安心できる愛情が大切なのだと感じます。そのためにも、日常の小さな出来事を聞

り返ってみても、その時は、愛情たっぷり育てたつもりでしたが、今振り返ると恥ずかしくなります。生まれたばかりの時

は、ただただ無事に生まれてきてくれてありがたう！という気持ちでしたが、成長していく姿に、親の話を聞いてくれた時、頑張った時、テストで100点だった時など、出来たことを「すごいねーまた頑張ろうね」とプロ

セスではなく結果を褒めていたなど。子どもは、愛された！見てほしい！と全力で頑張ってしまう。親が思う理想の子を育てようとするのではなく、その子自身の存在を大切に思うことが大切なのだと感じます。

東葛病院で誕生した赤ちゃん



第一子の時に優しい先生方、頼もしい助産師さん、看護師さんが励まし、支えてくださったので第二子も東葛病院一択でした。分娩室でも娘を気にかけてくださり、立ち合いで泣いても、優しく声をかけていただいていた家族の大切な思い出になりました。本当にありがとうございました。

健診会場 東葛病院健診センター（2階）
 実施期間 6月15日（月）～9月30日（水）
 受付時間 13：45～15：45
 ※7月、8月：不定期で休診日あり
 ※平日午後のみ（日祝日除く）
 ※土曜日午前応相談
 対象者 ・「国民健康保険加入」40才以上の流山市民
 ・「後期高齢者医療被保険者」
 ＊対象の方には流山市より受診券が送付されます
 ＊詳細は「流山市保健だより」「広報なかれやま」等にてご確認ください
 ＊健康診断は事前予約制です。下記にご連絡をお願いします。

【予約専用ダイヤル】 ☎04-7128-9393
 当院診察券をお持ちの方はお手元にご用意の上、お電話をお願いします
 月曜日～金曜日 9：00～16：00 土曜日 9：00～12：00
 東葛病院健診センター

日曜日に乳がん検診が受けられます！
 実施日 2026年6月21日（日） 受付時間 9：00～12：00
 検査内容 マンモグラフィー検査（2方向）※女性技師対応
 検査料金 ¥5,000
 ★検査当日に結果を医師よりご説明いたします。
 ＊妊娠中・授乳中の方へのマンモグラフィー検査は行っておりません。
 ＊WEBで予約が行えるよう調整中です。
 詳しくは東葛病院ホームページをご覧ください。

どんとこい 入退院支援課

備えを日々の生活の安心に

退院支援看護師 菅野美希

新年度も始まり過ぎ、しやすい季節も束の間、このまま夏に突入してしまうのではないかと、思わず思える気候となりました。私たちの生活は日々目まぐるしく変わる社会情勢、気候変動や自然災害と共存しており、その中で起こることに翻弄されます。少し前の地震発生時にも携帯電話からのけたたましい音に不安が頭をよぎる思いをされたのではないのでしょうか。

近年はメディアでも防災に関する情報発信も盛んとなり、避難する際には最低3日分凌げる備えが推奨されるなど、より身近に引き寄せて考える動きが浸透してきています。

いざ災害が発生すると、インフラ停止により日常生活には甚大な影響を受けますし、普段から継続した授業管理を必要とする方や医療機器を使用されている方にとっては生命維持に直結する場合も少なくありません。また被災による傷病者の発生等により、平時よりも医療の需要が高まる

ことは容易に想像できません。このように意識していても、いつどこで誰といる時に発生するかも分かりません。そのような状況で、自分の病気のことや飲んでいる薬、普段どういう治療をしているか？緊急連絡先の番号など、いざという時に伝える内容は数多くあります。

避難が必要な異常事態に冷静かつ落ち着いて説明なんて思うこともありません。だからこそ平時からの備えを意識しておきましょう。災害時だけでなく急病時にも必要とされる情報は同様です。これらの情報が分かるだけで治療の導入がスムーズになります。

そして流山市ではこれらの情報を事前に記載して保管できるよう、独自に救急情報シート、救急情報セットを作成し、救急隊と連携できる仕組み作りを進めています。持病があるという理由だけでなく、高齢世帯だから、一人暮らしだから、もしくは心配だから準備しておきたいという方もいるかもしれません。誰もがいざという時に備えることが、日々の暮らしにちよっとした安心へ繋がるなら是非活用してみてください。

Dr.依理の折々の記

政府の「武器輸出全面解禁」について 5階B病棟 依理 北村

事故や病気で足を切断した患者さんが義足を作成し、歩行を再度獲得するためのリハビリテーションも持っている。残念ながら、失ってしまった足と全く同じ機能を義足に持たせることはまだ難しい。

特に、大腿部での切断であると、膝の関節と、足の関節2つの関節の機能を補うことは難しく、その患者さんの身体能力に合わせ、膝関節を固定として、(膝は伸びたままにする) 歩く義足を選択する。

ふか、膝関節が普通に曲がる(曲げた膝を前へ振り出して歩ける) 義足にするかなど患者さんと相談しながら、悩みつつ義足を作成する。

切断した足はなるべく円錐形に形を整え、傷を治します。先ず平行棒の中で義足側に体重をかける練習から始め、そのあと足を1歩踏み出す練習。両手で平行棒の中で歩く練習と続いていく。

太ももでの切断では、運動神経の良い人でも義足を着けて歩けるようになるまでに4か月程度かかる。患者さんが、歩けるようになって、その方の世界が広がって退院していくのはすごく嬉しい。こういった経験をしている私にとって、「人を殺傷するための武器を(紛争当事国を含め)日本が輸出する国になる」ということが信じられない。

さらに、防衛省で安全保障技術研究推進制度が問題である。防衛大臣が将来の武器開発の研究テーマを設定、テーマに沿った研究課題を大学から募る。大学の研究費は、切り詰められてきているのに、「武器の研究」には大金を出す。命を生み出すことを奨励しながら、他国の人の命を「より効率よく奪う」研究を政府主導で産学共同ですすめる。お金をかけるなら、「医療費削減」と言わず、医療がより発展するように、日本の医療がより世界の人の健康に役立つような研究に使ってほしい。

今、本当にまた戦争へ向かう道を歩みつつあると思う。声があげられるうちに、今の政府の方針にNOの声をあげていこう。

クロスワードパズルの解答

前回の解答 サツキバレセンタクダ (五月晴れ洗濯だ)
※正解者には図書券 (500円) の発送をもって発表に代えさせていただきます。

無料低額診療事業のご案内

医療費にお困りの方は、ご相談下さい。

◆経済的な理由で、診療費の支払いが困難な方にも適正な治療を受けて頂くために、無料低額診療事業を行っています。お気軽にご相談下さい。

ご案内は：患者サポートセンター医療福祉相談課
☎04-7159-1011 (代表)

東葛病院、駅前診療所、付属診療所 (下花輪) の医療活動 2026年4月分

駅前診療所		月延べ外来患者数	3,447人
付属診療所		月延べ訪問患者数	477人
東葛病院		1日平均外来患者数	455人
東葛病院	主な検査	1日平均救急外来患者数	32人
		1日平均入院患者数	314人
		手術件数	103件
		血管造影	0件
		内視鏡	560件
		CT	1,009件
		MRI	286件
		心電図	649件
		腹部エコー	666件
		心エコー	242件
救急患者数			955人
内 救急車搬入件数			288件

施設・医療機器充実のために 資金募集にご協力ください

資金募集要項

1 寄付金

東京勤労者医療会の医療・介護内容の充実のために活用させていただきます。

2 地域協同基金 (無利息 無期限)

- 出資金のように安定した資金として経営基盤を支えるものです。
- ご返済は共同組織を脱退したとき、その他申し出のあった場合に行います。
- 一口金額の制限はありませんが、千円単位でお願い致します。

3 特定協力借入金 (有利息：年利1.0% 期間5年)

- 募集期間：2025年10月1日～2027年9月30日
- 一口：1万円～500万円 (1万円単位)
- 預り上限：一人1000万円／一家族1500万円 (ただし既にお預かり分も含みます)
- 申し込み書が届き、入金を確認できしだい、「証書」をお送りします。

問い合わせ先 03-5366-6893

東京勤労者医療会 経理部 (医療と福祉事務センター内)

【東葛病院】 24時間救急受け付けます

☎ 代表 04-7159-1011

東葛病院のホームページからも診療体制をご覧ください

■おかけまちがいにご注意ください

東葛病院 検索 クリック

2026年 6月

診療体制

受付のご案内

- 初診の方は病院総合受付においでください。
予約、予約外を問わず、診察券をお持ちの方はすべて受付機を通します。
毎月保険証確認がされない、受付機で受け付けできません。その時はお手数ですが受付カウンターにお申し出ください。
受付は1階で行います。
保険証は受付時に確認させていただきます。
受診の際は必ずお薬手帳をお持ちください。
小児科受診の際は必ず母子手帳・お薬手帳をお持ちください。

東葛病院の受付時間

受付時間 診療開始時間
午前8:30~11:30 午前9:00
午後1:00~3:45 午後1:30
祝日は、休診です
*受付時間・診察時間は科によって異なる場合があります。

東葛病院・外来予約のご案内

- 東葛病院の専門外来は予約制です。
電話での予約・予約変更の手続きは、予約センターで受け付けます。
東葛病院専門外来の電話予約時間
平日午前9時~午後4時 土曜日午前9時~午後12時
*予約センター(直通) 04-7192-6111
番号のおかけ間違いにお気を付けください

東葛病院 健診センター

☎04-7128-9393

駅前診療所のご案内

受付時間 診療開始時間
午前8:30~11:30 午前9:00
午後1:00~3:45 午後1:30
夜間4:45~7:00 夜間5:00
*完全予約制の内科外来です。
内科初診、紹介状をお持ちの方は、東葛病院を受診ください
予約変更の手続きなどは 平日 午前9時~午後4時
土曜日 午前9時~午後12時
駅前診療所の予約センター(直通) 04-7157-0102
おかけ間違いにご注意下さい。

野田南部診療所
〒278-0022 野田市山崎1737-2
☎ 04(7121)0171

野田南部歯科診療所
〒278-0022 野田市山崎1737-1
☎ 04(7120)0182で予約を!

新松戸診療所
〒270-0034 松戸市新松戸4-2-2
☎ 047(343)9271

新松戸診療所歯科
〒270-0034 松戸市新松戸4-2-2
☎ 047(349)2749で予約を!

新松戸メンタルクリニック
〒270-0034 松戸市新松戸4-2-2
☎ 047(309)6530で予約を!

あびこ診療所
〒273-1176 我孫子市柴崎台2-1-3
☎ 04(7181)7007

東葛病院附属診療所
〒270-0174 流山市下花輪409-6
☎ 04(7158)7710

Table with columns for hospital floor (1st, 2nd, Outpatient) and days of the week (Sun, Mon, Tue, Wed, Thu, Fri, Sat). Rows list various medical departments like Pediatrics, Internal Medicine, Dermatology, etc., with their respective staff and schedules.

【東葛病院附属流山セントラルパーク駅前診療所診療体制】 ☎ 04-7157-0100 ☎ 予約専用04-7157-0102

Table for Ryugasaki Central Park Station Clinic showing appointment times (午前, 午後, 夜間) and staff names for various departments.

*○数字は、第○週の表示です。ご注意ください。 名前の網掛けは女性医師を表示しています。

【東葛歯科診療体制】 ☎ 04-7159-6775で予約を!

Table for East Kashiwa Dental Clinic showing reception times (午前, 午後, 夜間) and availability (○) for each day of the week.

*東葛歯科はわかばビルのエレベーターで直接4階においでください。受付時間を夜7時まで延ばす曜日を増やしました。

【東葛病院附属診療所診療体制】 ☎ 04-7158-7710

Table for East Kashiwa Hospital Affiliated Clinic showing reception times (午前, 午後) and staff names for the Internal Medicine department.

診療所連絡先